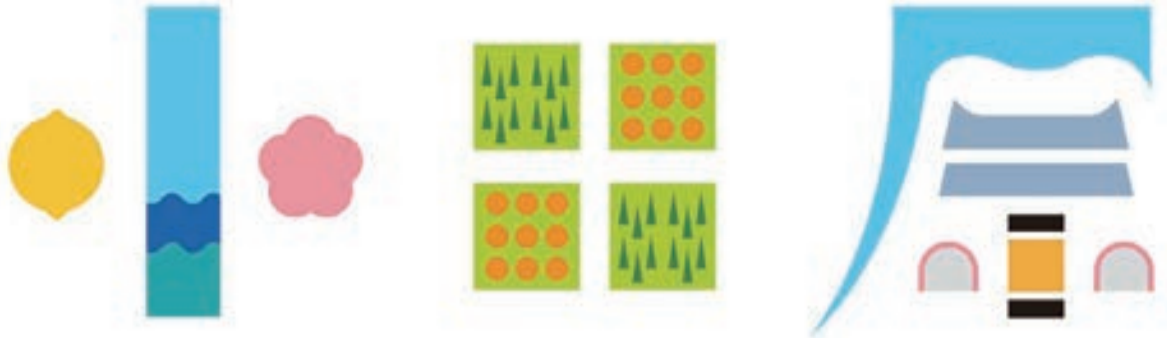


発行 小田原市 〒250-8555 小田原市荻窪300番地  
市役所総合案内 ☎0465-33-1300  
編集 企画部広報広聴課  
☎0465-33-1261 ㊟0465-32-4640



特集

# 今、描く まちのこれから

小田原市と南足柄市では、昨年10月から「小田原市・南足柄市『中心市のあり方』に関する任意協議会」を設置。合併するとどうなるか、などを検討してきました。

多くを望めない未来。  
「今ある『普通』が、どうすれば続くのか」  
私たちは、考えてきました。  
次は、あなたが考える番。  
さあ、今。



はじめまして。ボクはコアジサシのサッシー。  
最近、小田原市と南足柄市が合併などについて話し合ってるって聞いたんだけど、  
合併って何？ 詳しく教えてよ。  
ボクは、冬は南国で過ごすから、今のうちに聞いておきたいんだ！



市の鳥  
コアジサシの  
サッシー

目次

2   10	特集 今、描く まちのこれから 他	11	おだわら情報	12   19	くらしのガイド おだわらいふ	20	小田原いちばやさい／食×動／ハルネ情報
--------------	----------------------	----	--------	---------------	----------------	----	---------------------

合併なんて、全然聞いたことがなかったなあ。



でもね、サッシー。

私たちが住んでいる小田原市も、

合併を繰り返して、今の姿になったんだよ！

# あなたの住んでいる地区も？ 小田原市と合併の歴史

昭和15(1940)年12月20日に誕生した小田原市。当時の人口は5万4,699人で、面積は現在の半分ほどでした。

しかし戦後、市町村でやるべき仕事が増え、小さい町村は単独で対応できなくなりました。特に、中学校の運営は大変だったため、下府中村や桜井村が小田原市と合併しました。

昭和28(1953)年には、町や村の人口に基準を定めた「町村合併促進法」ができ、日本各地で多くの市町村が合併しました。小田原市も、昭和29(1954)年から昭和31(1956)年までに2町5村と合併。工場が多くあった地域は工業、交通の拠点だった地域は商業に力を入れ、それぞれの地域の力を生かすことで、小田原市は発展してきました。

昭和46(1971)年、さらなる発展を目指し、農業が盛んな橘町と合併し、現在の小田原市の姿になりました。

そして今、未来を見据え、合併などについて、南足柄市と話し合っています。



▲旧国府津町での合併祝賀宣伝車(昭和29年)

◀2町3村との合併を祝う子ども(昭和29年)

## 小田原市・橘町合併当時の話 ~旧橘町出身者に聞いた~

小田原市と橘町が合併したときは、東京で働いていたので、合併にあまり関心がありませんでした。反対する人がいたことは知っていましたが、橘町単独では、し尿処理などに限界があったことも、事実ではないでしょうか。(70歳代)

当時は他県にいて、合併前は出身地を説明するのが大変でした。でも、合併したことで「『小田原市』と答えれば分かってもらえる」と思ったことを覚えています。(60歳代)

合併の話を聞いたのが昭和45年。それから1年で合併しました。住民投票では、町民の3分の1が反対だったと記憶しています。合併後、小学校の建設や雨水排水溝の整備などの利点もありましたが、本庁舎が遠いなど、郊外であることの不便もありました。しかし、そうした利点や不便は、住む場所や仕事、世代で感じ方が違って来るのだと思います。(80歳代)



▲小田原市・橘町合併祝賀式(昭和46年)

どうして？



## なぜ今？なぜ南足柄市？ 合併について話し合っている理由

### 深刻な人口減少と少子高齢化

「そんなこと、前から言われていたじゃないか」と思うかもしれませんが、事態はいよいよ深刻になっています。小田原市でも、人口が毎年800~1,000人減るとともに、高齢者の割合も高くなっています。原因は、低い出生率や東京などへの人口流出。その東京でさえも、平成37年には人口減少に転じると言われています。

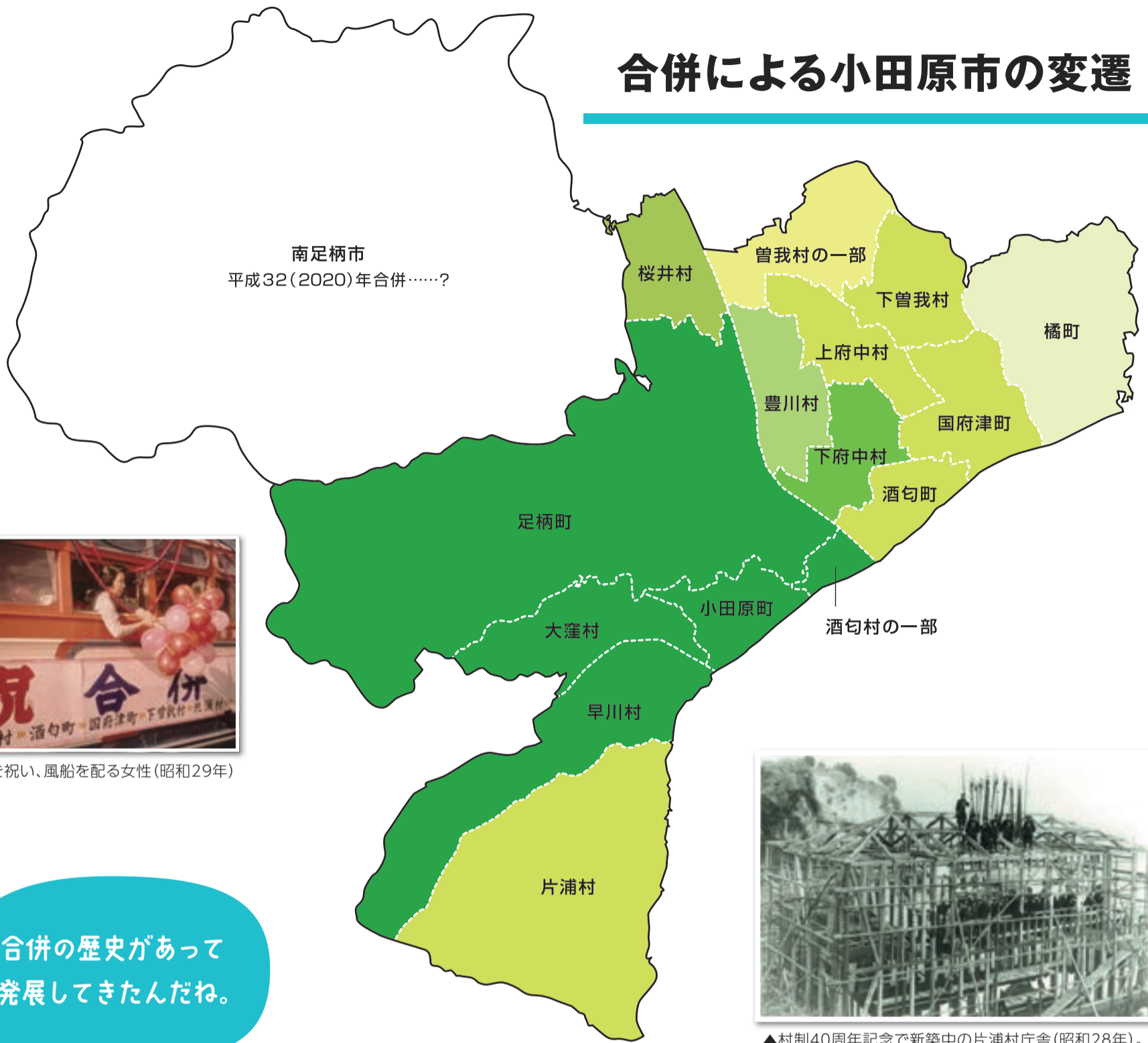
小田原市は交通の便がよく、地域資源にも恵まれている地域

です。もちろん、それを生かして、人口減少を防ぐ取り組みを進めています。しかし、それだけでは太刀打ちできない現実があります。日本全体の人口が減り、高齢化に向かうスピードは圧倒的なのです。

人口が減少するとともに税収も減り、福祉に係るお金が増えていく。そうなると、当たり前だったサービスをやめたり、規模を小さくしたりしなければなりません。

小田原での暮らしを守る努力に加えて、抜本的な対策を考える必要がありました。その候補として挙げたのが、「合併」でした。

# 合併による小田原市の変遷



▲合併を祝い、風船を配る女性(昭和29年)



▲村制40周年記念で新築中の片浦村庁舎(昭和28年)。翌年、片浦村とも合併し、支所として活用

合併の歴史があって  
発展してきたんだね。



### 合併年表

昭和15(1940)年12月	小田原町・足柄町・大窪村・早川村・酒匂村の一部(現在の山王網一色地区)が合併し、小田原市が誕生	昭和29(1954)年7月	豊川村と合併
昭和23(1948)年4月	下府中村と合併	昭和29(1954)年12月	上府中村・酒匂町・国府津町・下曾我村・片浦村と合併
昭和25(1950)年12月	桜井村と合併	昭和31(1956)年4月	曾我村の一部と合併
		昭和46(1971)年4月	橋町と合併

## つながりの深いお隣さん

では、「どこの自治体と合併してもよいのか?」という、そうではありません。生活圏が似通った地域でないと、うまくいかないのです。

南足柄市には、酒匂川を本流とする狩川が流れます。その狩川沿いを走る大雄山線や、幹線道路に沿って市街地が続き、通勤・通学、買い物などで、多くの人が両市を行き来しています。

皆さんも南足柄市体育センターを利用したり、遠足で金時山や足柄峠に登ったりしたことがあるのではないのでしょうか。

そうした関係性があり、県西地域2市8町の中心市としての役割を担ってきた両市だからこそ、今、合併などについて話し合っているのです。

	通勤	通学
南足柄市から小田原市へ	5,129人	414人
小田原市から南足柄市へ	2,939人	291人

(平成27年国勢調査より)

なるほど。  
そうだったんだね。  
でも、小田原市って  
そんなに大変な状況なの?  
あまり実感ないなあ……。



今はまだ、実感がないかもしれないね。

だからこそ、今のうちから話し合うべきことなんだ。

なぜなら、そう遠くない未来、

小田原市が必ず直面する問題があるんだ。

次のページを見てみよう。



# 3つの問題 お金が足りない!

保育園の運営、ごみの収集、道路の整備……。市のサービスには、皆さんが納めた税金など「市のお金」を使っています。しかし、現在「市のお金」が抱えている3つの問題があります。

## 問題 1

低い出生率や人口流出により  
人口が減っている

入るお金が減っていく

今後、さらなる人口の減少が予測されています。個人市民税は、税の制度や景気の動向などに大きな影響を受けますが、それらに変化がなく、今の状態が続いた場合、生産年齢人口の減少に伴い、個人市民税の税収も減っていくことが見込まれます。



市民税課  
高橋歩美

### 市税収入全体の推計

平成27年度 → 約330億円

平成42年度 → 約310億円

約20億円の税収ダウン!

## 問題 2

少子高齢化などの影響で  
福祉や子育て支援のお金  
「扶助費」が増えている

出るお金が増えている

扶助費には、児童手当や児童扶養手当、各種医療費助成、障がい者や生活保護利用者への給付などがあります。皆さんが安心して暮らすための扶助費ですが、高齢化の進展や、子育て支援の充実のため、今後もますます支出が増えることが予想されます。



福祉政策課  
塚田崇

### 扶助費の推移

平成21年度 → 約114億円

平成27年度 → 約174億円

6年間で約1.5倍!

## 問題 3

市の建築物が老朽化していて、  
修繕・建て替えが必要

出るお金が増える

高度経済成長期に整備された市の建築物が、老朽化しています。今ある全ての建築物を維持する場合、これから30年間で、約1,070億円の財源が不足すると見込まれています。市の建築物のあり方についても、考えなくてははいけません。



公共施設  
マネジメント課  
玉井智美

### 今後30年間の修繕・建て替え費用

修繕費用：約300億円

建て替え費用：約1,520億円

総額：約1,820億円

投資できるお金は約750億円。

約1,070億円足りない!

今のままのサービスを提供し続けると、小田原市は平成42年度までに、累計で約202億円もお金が不足してしまいます。サービスを切り詰めるなどして、行政改革で目標としている年間14.5億円の節約をしても、平成42年度までに、累計で約43億円足りなくなってしまいます。

お金が足りなくなった市町村の中には、ごみの収集回数を減らす、身近な道路を地域住民が修理する、固定資産税を上げる、といった対策を取っているところもあります。

平成42年度という遠い未来のような気もしますが、13年後の話。あなたやお子さん、お孫さんにとって他人事ではないのです。

えーっ!  
それは不安だなあ。  
じゃあ、  
もし合併したら  
どうなるの?



合併したからといって、  
人口の減少や、扶助費の増加を

止められるわけではない。

でも、小田原市と南足柄市が1つになることで、

大きな効果をもたらすんだ。

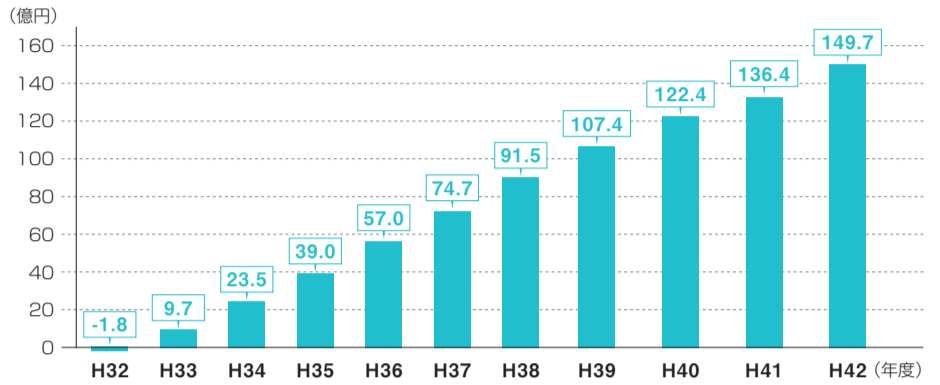
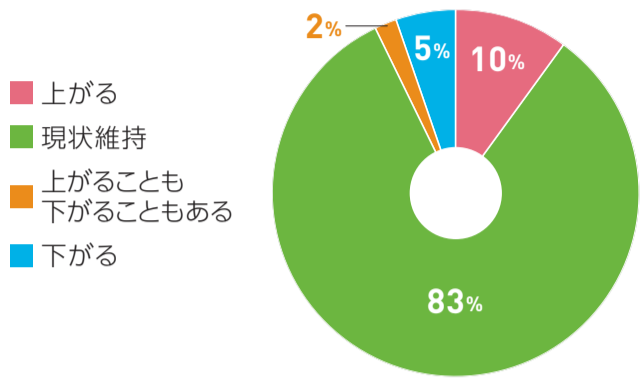
だから、合併は「究極の行財政改革」

といわれているんだよ。

具体的な例は、

次のページを見てみよう。

# 検討の結果 サービス水準は変えずに、10年間で約150億円の節約



**合併後の市民へのサービス水準の変化**  
サービス水準はほとんど変わりません。現状を維持できるということは、1つの成果であるといえます。

**合併することで節約できる「市のお金」の累積**  
職員や議員などを減らしたり、事務やシステムをまとめたりすることで、合併後5年め以降は、毎年約18億円の節約ができます。合併時にかかるお金などを差し引いても、10年間で約150億円が節約できます。

合併したら、私たちの生活はどのように変わるのか。その一部を紹介します。



### 乳幼児健診

現在の「8~9か月健診」の期間が延び、8か月から11か月まで健診を受けられるようになります。それ以外の乳幼児健診は、現状を維持します。



### 就学援助

援助が必要な世帯の基準、サービス内容は、現状を維持します。



### 特定不妊治療費助成

新たなサービスとして、県による特定不妊治療を受けている人に対し、最大で1回10万円が助成されます。



### がん検診

新たなサービスとして、肺がん検診、大腸がん検診、前立腺がん検診を、集団検診でも受けられるようになります。それ以外のサービス水準は、現状を維持します。



### 国民健康保険料

保険料は、事業に必要な経費を確保できるよう、合併時の両市民の平均値になります。現在は1人当たり年間10万2,776円ですが、合併後は10万3,759円を見込んでいます。



詳しくは、広報小田原9月号とともにお配りした冊子「中心市のあり方に関する協議結果」をご覧ください。

## 市民に聞いた! 合併、どこがキニナル?

「合併について、こんなことが気になるなあ」素朴な疑問に答えます。

合併について どんどん 分かってきたぞ!



#### キニナル!!

市のマスコットキャラクターはどうなるの?



観光キャラクターなどは引き継がれる予定です。合併した場合も、市民の皆さんに愛されるキャラクターとして活躍します。

#### キニナル!!

合併の デメリットは?



サービス水準を調整することで、個別に見れば一部のサービスが低下するため、デメリットと感じる人もいます。しかし全体としては、サービス水準は変化しない、もしくは向上するという結果が示されています。

#### キニナル!!

合併は どうやって 決まるんですか。



本市では、アンケートで市民の皆さんの合併に対する考え方を把握し、南足柄市の動向なども踏まえ、市長が合併の是非を判断します。両市で合併すべきと判断したら、最終的な合意に向けた協議をし、その後、両市議会の議決で合併が決まります。

#### 他にもあったこんな意見

- ・夫も子どもも市外で活動しているので、あまり気にしていません。(30歳代女性)
- ・社会情勢は厳しく、小田原市もこのまま存続できるとは思っていません。(50歳代男性)
- ・税金や水道料金が上がるのは困ってしまう。(60歳代男性)

#### 市民説明会で上がった声

- ・住民投票をしたほうがいいのではないかと不安です。
- ・行政サービスが維持されるのか不安です。
- ・合併しても、人口減少は止まらないと思います。



南足柄市ってどんなところ?



# 南足柄市ナンバー1巡り!



ここまで、合併などについて、ちょっと難しい話をしてきました。しかし、合併について考えるためには、相手(南足柄市)のことを知らなければなりません。歴史・文化があり、豊かな自然に恵まれた南足柄市。そんな南足柄市の4つのナンバー1を紹介します。早速、サッシーと一緒に南足柄市ナンバー1巡りに出掛けてみよう!



世界  
1

## 世界一の下駄

▶世界一大きい下駄と修行僧の菅井崇博さん



開創以来620年以上の歴史があり、正月の三日だけで、10万人もの参拝客が訪れる「大雄山最乗寺」。天狗が守る寺といわれ、御真殿には多くの下駄が奉納されています。その中で、ひときわ目立つ大きな下駄。これが、世界一の大きさを誇る下駄です。

▶御真殿



大雄山最乗寺  
住所:大雄町1157  
アクセス:大雄山線「大雄山駅」から伊豆箱根バス「道了尊」行き。終点下車徒歩約10分



◀最乗寺では、この他にも多くの天狗像を見ることができる。

了庵慧明禅師によって開山された最乗寺は、了庵の弟子・道了尊者が不思議な力(神通力)で谷を埋め、岩を持ち上げ、建立されたといわれています。了庵の亡き後、道了尊者は寺を守るために天狗となり、山中に飛び去ったことから、天狗が寺の守護として祭られました。そのため、参拝客は天狗へのお供え物として下駄を奉納。世界一の大下駄は、昭和62年に奉納されました。重さ約3tのこの下駄は、「和合下駄」と名づけられ、縁結びのシンボルにもなっています。

最乗寺には多くのパワースポットがありますが、一番の人気は、この和合下駄がある御真殿です。(大雄山最乗寺 知客 小木曾壽一さん)

神奈川  
1

## 神奈川県一の名水



清左衛門地獄池湧水

住所:狩野865  
アクセス:大雄山線「富士フィルム前駅」下車徒歩約20分



環境省が選ぶ「平成の名水百選」に、県内で唯一選定された「清左衛門地獄池湧水」。地域住民などにより、水環境の保全活動が行われています。この湧水は、質もさることながら、1日1.3万tともいわれる量を確保できるため、工業用水として利用されています。

南足柄市には、箱根外輪山から流れ出る狩川をはじめ、多くの川が流れ、市内には30か所以上の湧水があります。そのため、全国有数の水のまちとして知られ、この水を目的に、多くの企業が工場や事業所を建てました。





日本  
1

# 日本一の酔芙蓉農道



千津島の田んぼは酒匂川から水を引いているため、「酒」に絡めて酔芙蓉を植えました。

酔芙蓉は毎年12月に剪定します。地元の中学校からの申し出があり、生徒と一緒にしています。

この素晴らしい酔芙蓉を一人でも多くの人に見てもらうため、受け入れ体制を整えていきたいです。  
(千津島花紀行 会長 高橋達之さん)



▲(左から)千津島自治会長瀬戸孝則さん、瀬戸さん、高橋さん

平成8年に農道の整備を始め、12年に酔芙蓉を植栽。酔芙蓉農道を完成させました。完成の翌年に設立された団体「千津島花紀行」が管理し、毎年9月中旬には、農道沿いにある「ふくざわ公園」で「酔芙蓉まつり」を開催。県内外問わず、多くの人を訪れる観光名所になりました。酔芙蓉以外にも、春めき桜や花アオイなども植え、花を通じたまちづくりを進めています。  
(千津島花紀行 事務局長 瀬戸忠さん)

### ふくざわ公園

住所:千津島1845  
アクセス:大雄山線「大雄山駅」から箱根登山バス「新松田駅」行き。「まました停留所」下車徒歩約15分



朝には白い花が、夕方には赤く染まります。酒を飲んで赤みを帯びてくるようすに例えられ、名づけられた酔芙蓉。南足柄市千津島には、酔芙蓉約1,000本が咲き並びます。約1.3kmにわたるこの「酔芙蓉農道」は、「日本一の酔芙蓉農道」として、平成18年度に国から表彰されました。

南足柄  
1

# 南足柄市一の山

市の面積の約7割を森林が占めるなど、豊かな自然に恵まれた南足柄市。代表する3つの山(金時山、明神ヶ岳、矢倉岳)にはハイキングコースが充実し、多くの登山客が訪れています。今回はその中で、人気も標高も一番高い金時山(標高:1,212m)に登りました。

霧が出ていなければ、きれいな富士山を拝むことができる



GOAL!!

金時山の山頂は、南足柄市、箱根町、静岡県小山町の境になっています。それぞれのまちを向いた、ほこらが祭られています。

いざ!!  
「足柄峠・金時山コース」に  
チャレンジ!!

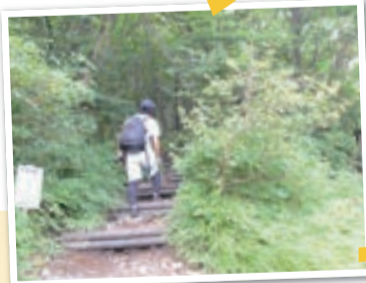
START!!

神奈川と静岡の県境にある「竹之下稲子場」から出発! 山頂まで60分!

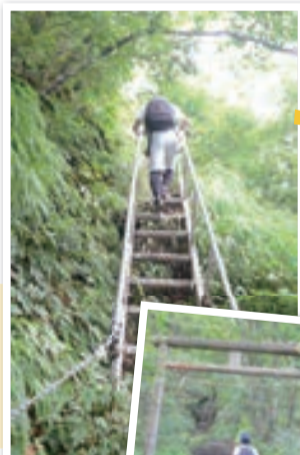


広報広聴課  
鈴木智幸

始めは、なだらかな坂と階段。



後半は急な勾配で、はしごを登るような場所も。でも、あと少し。



小山町

箱根町

南足柄市

## 金時山と金太郎

金時山は、その形状から「猪鼻山」と呼ばれていましたが、金太郎(坂田金時)が少年時代に百獣と過ごした山だったため、「金時山」と名づけられたという説があります。

ハイキングコースには、金太郎の産湯に使われたといわれる「夕日の滝」など、金太郎ゆかりのスポットを通る「金太郎コース」もあります。



自分の職場や学校があったり、買い物に行ったり、友達が住んでいたり……。生活圈も似通っているし、お隣さんだから、南足柄市のことを知っているつもりでいたかもしれません。

しかし、実際に南足柄市の歴史や文化、自然に触

れることで、これまで知らなかったことを知り、改めてその豊かさ、広大さを感じることができます。

今回巡った南足柄市は、ほんのごく一部。まだまだ、多くの魅力があるはずです。



## 少子高齢化というリアル

**加藤** : 今後、地方自治体が直面する課題、住民が向き合っていかなければならない課題について、先生はどのように捉えていますか。

**牛山** : 平成11年から始まった平成の大合併以降、全国に約3,200あった自治体は現在1,741になり、地方自治にとって大きな転換となりました。その背景には、これからの時代に耐える行政体制をどう作っていくか、ということがありました。

当時よりもさらに少子高齢化、人口減少が進んでいます。特に、高齢化は大きな課題です。高齢化率が3~4割になっていく時代の中で、今までできていたことができなくなります。そのとき、それぞれの自治体が今のままやっていけるのか、合併あるいは広域連携といった圏域一体の取り組みが必要になってくるのか、ということが問われます。

**加藤** : 平成の大合併当時も人口は減少し、高齢化が世界に類をみないスピードで進んでいくといわれていましたが、まだリアリティがありませんでした。しかし、小田原市では平成20年のピーク時に20万人を超えていた人口が19万3,000人を割り、高齢化率も28~29%。税収も伸びていきません。増えていく課題を、増やせない職員体制で支えなければならぬ中で、いかに行政サービスを維持させるか、という大変難しい状況に直面しています。そうした中で、リアルで深刻な危機意識を抱えて協議に入りました。

## 変わっていくことを覚悟する

**牛山** : 私の出身地である長野県は、平成の大合併後も77もの市町村があります。合併しなかったところは、道の整備を住民が行う、職員の数を大幅に減らすなど、大変な努力をしています。これから自治体はさらに、さまざまな形で行政改革を進める必要があります。

**加藤** : 小田原市としても行政改革を行い、いろいろなものを切り詰めています。しかし、これから先、それでやっていけるか、という疑問があります。多くの行政サービスなどを切り詰めながら、今より年間14~15億円の削減が必要です。これは、かなり努力しなければ生み出せない数字です。皆さんにも、痛みを分かち合っ



ていただく必要があります。自治体の規模、行政サービスのあり方を考えること。加えて、市民一人一人が「公共」の部分を持っていくんだ、という意識を持つこと。両方が必要です。合併しないということは、そこで生じる課題を自分たちで引き受ける覚悟があって、成り立ちます。そのあたりを、市民の皆さんがどう選択していくのか、ということが問われています。

**牛山** : 合併するか、しないかにかかわらず、予算が縮小する一方で、福祉に係る費用は増える。一体どこを削ればよいのか、という議論も出てきます。

## サービス水準を変えずに、18億円を生み出せるという結果

**加藤** : 協議会で、両市の職員が相当なエネルギーを費やし、互いの市が



# 未来の話

小田原市長

## 加藤 憲一

両市で協議してきた意味。協議会を通じて「合併」に向き合っ

持つ3,270という膨大な数の事務事業を突き合わせました。結果として、両市のサービス水準は8~9割が変わらない、もしくは向上。さらに、合併後5年め以降は、毎年約18億円の効果が出るようになりました。現行のサービス水準を維持でき、また余力ができることで、それを新たな課題への対応に充てられるということが確認できました。

**牛山** : この機会を、役所や地域の中にあつた「当たり前」を見直すきっかけにしていくことが大切です。議論されていることがらを具体的に示し

### 今後の流れ(予定)

平成29年度10月~

#### ● 市民説明会

日時 10月8日(日) 14:00~15:30  
場所 保健センター3階 大研修室 定員 170人

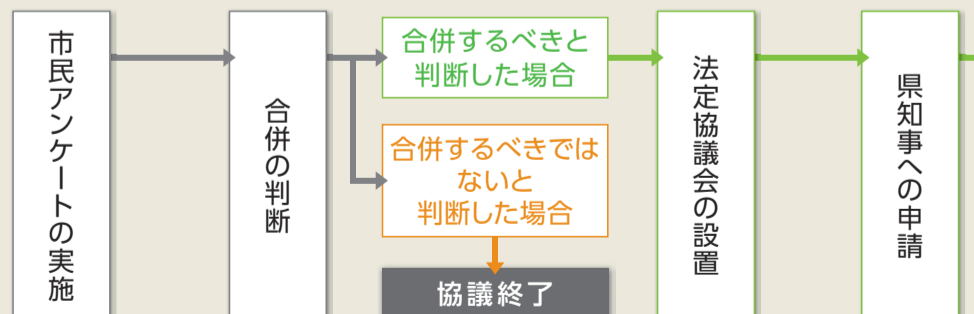


▲9月9日に行われた「合併に関する市民説明会」のようす。103人が来場



▲9月24日に行われた「合併について考えるシンポジウム」のようす。231人が来場

平成30年度~31年度



10月中旬に18歳以上の市民1万人に、合併に対する考え方を問うアンケートを実施。南足柄市でも、合併についての市民の考え方を調査

市民の意見などをもとに、それぞれの市長が合併をすべきか否か判断

両市議会の議決を経て、地方自治法で定められている法定協議会を設置。合併に関する詳細を議論

法定協議会で合併を合意したら、両市議会で「合併の申請」を議決し、県知事に申請





が危機意識を持ち、中心市のあり方を通じて県西地域の未来を考えています。行政学を専門とされる先生にとっては、どのように見えますか。

**牛山**：小田原だけではなく、歴史的にも文化的にも伝統があり、名を成してきた地域が、社会環境の変化で、地域運営が厳しくなっています。しかし、その中でも小田原には大きな可能性があると思っています。例えば、城下町として栄えてきた歴史や文化、新幹線などによる交通の利便性、箱根にもつながるような豊かな観光資源……。これらは、県西地域が発展する大きなポイントです。それを生かすための行政施策などが大事になってきます。また、小田原市と他自治体との間でどういう関係を築いていくか、県西地域の問題に対する危機感をどう共有するかが大切です。その中で合併という選択肢があるならば、合併がどういう意味を持つのか、しっかりと考えていくべきでしょう。



### 判断は市民一人一人が

**加藤**：両市が協議結果をきちっと伝え、市民の皆さんに冷静に判断してもらいたいです。

**牛山**：後ろ向きに合併しても、しかたないと思うのです。行財政が厳しいというのはもちろんあるにせよ、この地域の力を高めることに合併が有効かどうか、ということが重要です。私も雰囲気や勢いではなく、冷静に判断して決めるべきことだと思っています。

**加藤**：協議会では、合併ありきではなく、「合併したらどうなるか」ということを話し合ってきました。その結果、これだけの効果が出るということが分かりました。小田原市の立場で考えれば、合併を進めていくべきだと思います。しかし、誰がなんと言おうと合併する、ということではなく、皆さんの意向を踏まえて、決断していかないとはいけません。合併は「結婚」みたいなもの。両市に多少問題があったとしても、手を取り合っていこうという合意がなければ、うまくいきません。最終的には、一人一人の判断を尊重します。先生にも引き続き、学識経験者として、的確なご助言をお願いします。

# を、しよう

明治大学政治経済学部教授

## 牛山久仁彦

県西地域が発展するための鍵。  
てきた二人が、未来を見据え、語ります。

つつ、両市の新しい自治体づくりの姿勢が示されるとよいですね。住民の皆さんも地域をどう支えていくのか、ということをしっかりと考えて、自治会やNPOなどで役割を果たしていくことが大切です。

### 地域資源を生かし、県西地域の発展を

**加藤**：県西地域は、豊かな自然環境や歴史・文化を誇る2市8町で成り立っています。しかし、県内で衰退が激しいのも事実。そういった中、両市



**加藤 憲一**

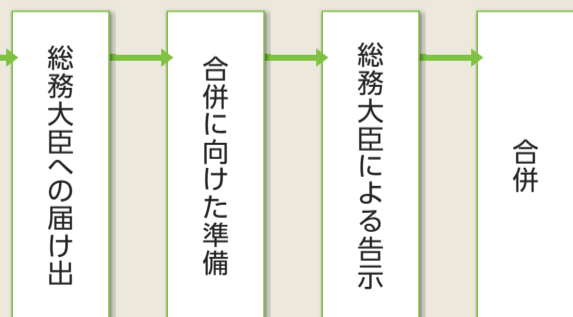
経営戦略コンサルティング会社、民間教育団体、農業、オービックビル事務局、有限会社あしがら総研代表などを経て、平成20年5月、第20代小田原市長に就任。現在3期めとなる。



**牛山 久仁彦**

明治大学政治経済学部地域行政学科長・教授。日本学術会議連携会員。専門分野は行政学・地方自治論。「小田原市・南足柄市『中心市のあり方』に関する任意協議会」では委員を務める。

平成32年度



県議会の同意後、県知事が合併を決定し、総務大臣に届け出

サッシー、  
理解できたかな？



うん！分かったぞ。  
ボクも合併するべきかどうか、  
冷静に考えるね。  
これで安心して、  
南国に飛び立てるよ！

「協議会で何を話し合っているの？」  
「小田原市にはそんなに関係ないでしょ」  
合併について、どこか他人事に捉えていませんか？

しかし、さまざまな問題を抱える現在。  
まちの未来と、しっかり向き合なくてはなりません。  
まちの未来は、あなたやお子さん、お孫さんの未来。

新しいまちの形に変えて、今のままのサービスを保っていくのか。

増える課題や負担を自分たちで引き受け、  
今のままの市の形でいくのか。  
冷静に、客観的に、自分自身の意見を持つことが大切です。

さあ、まちのこれからを描こう。



# 私たちが創る小田原の文化 おだわら市民ミュージカル

市では、平成23年度から、多くの市民が文化に触れ、理解を深める機会を創っています。その一つである「ワークショップ事業」の集大成として、「おだわら市民ミュージカル」が、8月26・27日に公演されました。

問 文化政策課 ☎33-1709 WEBID P22200

## 4年間の集大成

市民が文化を体験し、創り上げる「ワークショップ事業」では、一人一人がアーティスト。

おだわら市民ミュージカルを行うまでに、題材の研究、歌やダンスの実践など、4年の月日をかけて、さまざまなワークショップを行いました。

市民が文化を体験し、創り上げる「ワークショップ事業」では、一人一人がアーティスト。



### 平成26・27年度前半 題材の研究

市民会館の運営などに関わってきた人に、インタビュー。埋もれていた記憶やエピソードは、ミュージカルの脚本の要素になりました。

### 平成27年度後半 題材のまとめ

インタビューや調査を通じ、発掘した記録・記憶のシーンを発表しました。



### 平成28年度 歌やダンスなどの実践

歌・ダンス・演劇・セリフ読みをまとめ、45分の発表会を開催しました。



## 平成29年度 オリジナル・ミュージカルの公演

そして今年度、一般公募で決まった32人と、プロのアーティストが協働で、これまでのインタビューなどを生かしたオリジナル・ミュージカル「小田原時空写真館」を公演。

練習時間は、4か月で187時間。出演者だけでなく、小道具の製作や練習のサポートなども、市民や近郊に住んでいる人で行いました。

2日間で1,060人の観客が集まり、大盛況のうちに幕を閉じました。



### インタビュー



練習サポート  
石川萌木さん

将来、音響や照明の仕事に就きたいと思っています。本格的な機材を使えたことや、いろいろな世代の人と劇を作ったことは、貴重な経験になりました。劇の進行や出演者と息を合わせて音楽を流すことは、想像以上に難しかったです。



「おだわら市民ミュージカル  
稽古場BLOG」執筆  
池田啓司さん

市民ミュージカルは、成長する過程が大事だと思います。アマチュアの出演者がプロの指導を受け、練習を重ねるごとに、どんどんうまくなりました。そうした濃密な空間を形にするため、お手伝いしました。私も同じ空間にいられたことが誇りです。



文化政策課  
富士原直也

市職員として4年間、この事業に携わってきました。市民ミュージカルの参加者は、プロではありません。ミュージカルを見た人に「自分にもできるかも」と憧れを持ってもらい、舞台やダンス、音楽といった文化創造に参加してもらいたいです。

### 連載

## 市民力

おだわら市民ミュージカル「小田原時空写真館」主演 辻村夏穂さん  
「見る側」から「演じる側」に



主役の桐生真希役を演じたのは、市内在住の辻村夏穂さん。幼い頃を小田原で過ごし、小学5年生のときに戻ってきました。

辻村さんは小学3年生のとき、当時住んでいた徳島県で市民ミュージカルに出演。それ以降は、「見る側」としてミュージカルに接してきました。

昨年、ワークショップ事業「市民ミュー

ジカルを創ろう」を知り、「今、やりたい」と参加。今年5月のオーディションで主演に選ばれました。

「演じる側」となり、「観客に何を感じてもらいたいか」ということを考えていた辻村さん。しかし、他の出演者や先生と話す中で、「ただその役として、その場にいる」ことが大切だと思うようになりました。

「一人一人を肯定してくれる出演者、先生、スタッフに出会えたことが、何よりうれしい。今回のミュージカルを通じて成長できたと思うし、人生が少し変わりました。「私にもできるんだ!」と思えたし、今後もお芝居を続けていきたいです。また小田原で演じられたらいいな」そう話す辻村さんの瞳は、次の舞台を見つめています。



# おだわら情報

## 市民ホール整備事業公募型プロポーザル1次審査の結果

WEBID P23365 問文化政策課 ☎33-1702

市民ホールは、設計料を含む建設費の上限を63億円とし、優れたデザインとプランの提案を募集する「設計者を重視した2段階方式の新たなデザインビルドプロポーザル」により、整備事業者の選定を進めています。

9月16日に「市民ホール整備事業公募型プロポーザル1次審査」を行い、応募のあった4者のうち、次の3者を選定しました。

### 1次審査通過事業者(50音順)

- ・梓設計・小泉アトリエ・佐藤工業共同企業体
- ・鹿島建設・環境デザイン研究所共同企業体
- ・前田建設工業・ヨコヅマコト建築設計事務所共同企業体

### シンポジウム「人と人の交流を基本とするホールのあり方」

ホールができると、まちにはどのようなことが起こるのか。「いわき芸術文化交流館アリオス」の大石時雄さんを迎え、シンポジウムを開催します。

日頃、市民会館を利用している文化団体も参加し、新たなホールが今後どのように使われるのか、そのイメージを皆さんと共有します。

日時 10月14日(土)13:30～15:30

場所 市役所7階大会議室

定員 100人

※直接会場にお越しください。

## 市内での就職希望者を対象に、東京で開催 小田原市UIターン就職応援合同説明会

WEBID P23119 問産業政策課 ☎33-1514

市とハローワーク小田原、小田原箱根商工会議所では、都心に住んでいる若者が小田原で働きたくなるよう、「UIターン就職」を応援する説明会を開催します。

小田原での就職や、移住を考えているお子さん、お孫さん、ご友人などにお知らせください。

### UIターン就職とは

**Uターン就職** 都市部での就職・就学を経て、故郷に戻って就職すること。

**Iターン就職** 出身地にかかわらず、地方で就職すること。

**Jターン就職** 地方から大都市に就職・就学した人が、故郷近くの中規模都市に就職すること。

### 小田原市UIターン就職応援合同説明会

日時 11月16日(木)13:30～16:30

場所 東京新卒応援ハローワーク出合いのフロア  
(東京都新宿区西新宿2-7-1 小田急第一生命ビル21階)

内容

- ・市内企業約20社がブースで個別説明、採用面接
- ・ハローワーク小田原による就職相談
- ・地域情報、行政情報の提供

対象 市内での就職を希望する若年者、一般の人(中学・高校卒業予定者を除く)

費用 無料(入退場自由)

持ち物(採用面接希望者)

履歴書、雇用保険受給資格証(雇用保険受給中の人)、  
ハローワークカード(持っている人)

参加企業 10月上旬に、市ホームページで公開。

11月1日(水)前後から、最寄りのハローワーク求人検索端末で求人票を閲覧可能。

## 小田原城天守閣特別展 小田原北条氏の絆～小田原城とその支城～

WEBID P23448 問小田原城総合管理事務所 ☎23-1373

戦国時代、小田原を拠点に関東を治めた北条氏。4代当主・氏政の弟である氏照、氏邦は、それぞれ八王子城(東京都八王子市)、鉢形城(埼玉県寄居町)の城主として、氏政を支えました。

この3兄弟の絆により、昨年10月1日、本市、八王子市、寄居町は、姉妹都市盟約を締結。観光をはじめ、さまざまな分野で交流し、親善を図っています。

今回の特別展では、この3市町を中心に、関東各地で発掘された北条氏ゆかりの資料を公開します。各地で大切に保管されてきた品々が小田原に「帰陣」する企画は、戦国ファンならずとも必見。ぜひ、ご覧ください。

期間 12月24日(日)まで

場所 小田原城天守閣

費用 入館料(大人500円、小・中学生200円)



### 小田原市・八王子市・寄居町姉妹都市盟約記念イベントも続々!

#### ①講演会「氏政と小田原城、氏照と八王子城」

日時 11月18日(土)13:00～17:00(開場12:30) 定員 300人・多数抽選

場所 市民会館3階小ホール 費用 無料

#### ②講演会「氏邦と鉢形城、氏規と蕪山城」

日時 12月10日(日)13:00～17:00(開場12:30) 定員 300人・多数抽選

場所 市民会館3階小ホール 費用 無料

#### ③シンポジウム「小田原北条氏の絆」

日時 平成30年1月13日(土)9:45～17:00(開場9:00) 定員 1,000人・多数抽選

場所 市民会館大ホール 費用 500円(資料代として当日徴収)

内容 講演会、パネルディスカッション

出演 小和田哲男さん(小田原ふるさと大使、静岡大学名誉教授)

小野正敏さん(国立歴史民俗博物館名誉教授)

竹井英文さん(東北学院大学准教授)

諏訪間順(小田原城総合管理事務所長)

申込 往復はがきに参加希望の番号(①～③)と講演会・シンポジウム名、住所、氏名、電話番号を書き、小田原城総合管理事務所(〒250-0014 城内3-22)に①11月2日(木)、②11月27日(月)、③12月20日(水)までに郵送で

※はがき1枚につき、1講演5人まで応募可

## おいでよ! 片浦小学校 平成30年度児童を募集

WEBID P11264 問教育指導課 ☎33-1684 片浦小学校 ☎29-0250

片浦小学校は「小規模特認校」として、一定条件のもと、市内全域から児童の入学を認めています。少人数ならではのきめ細かい指導や、地域との連携が特長です。

募集人数 1年生10人(平成30年4月1日時点の学年)

※多数抽選(兄・姉が在学している場合は優先枠有り)

### 入学の条件

- ・保護者・児童ともに、市内に居住している。
- ・小規模特認校の教育活動、PTA活動に賛同している。
- ・通学は、保護者の責任と負担で行う。
- ・卒業まで通学する。
- ・小規模特認校での就学、通常級での学習や活動ができる。

### 手続きの流れ

#### 学校公開日

10月30日(月)・31日(火)、11月1日(水)・25日(土)

※入学希望者は、この日程のいずれかで見学。日程が合わない場合は、片浦小学校にお問い合わせください。

※10月30日(月)15:00～16:30は、学校説明会を開きます。

面談 11月2日(木)～30日(木)

#### 申請書の提出(面談終了後)

11月2日(木)～12月4日(月)

※教育指導課に直接提出

※申請書は教育指導課、片浦小学校で配布。市ホームページからダウンロードもできます。



金管バンド活動



農園活動(じゃがいもの収穫)





募集

ファミリー・サポート・センター支援会員

育児の援助ができる人(支援会員)と、援助を希望する人(依頼会員)が登録し、相互援助活動を行います。

平成30年度放課後児童クラブ

平成30年度に小学1~6年生になり、同居する保護者の就労などで放課後に家庭での見守りを受けられない児童

上級救命講習

普通救命講習Iの内容に、「傷病者管理」「異物除去」「搬送法」「熱傷の手当」などを加えた応急手当て全般を学びます。

脳と体の若返り塾

認知症予防に効果があるウォーキングを中心に、脳と体を刺激します。

高齢者向けのボランティア活動説明会

社会貢献と自身の介護予防のため、ボランティア活動を始めましょう。

ガイド協会企画ガイド

- ①殿様も通った街道・甲州道を歩く!(約6km) ②ここがおすすめ!ワンダフルガイド~街かどめぐり東海道周辺~(約4km) ③江戸時代の土産遺産・菟窪用水を歩く(約7km)

家族介護教室

介護に関する知識や技術を学びます。①11月21日(火)②12月20日(水) 10:00~12:00 場 マロニエ

認知症サポーター養成講座

認知症の症状について学びましょう。①10月23日(月)②11月8日(水) 14:00~16:00 場 ①尊徳記念館1階視聴覚室 ②いずみ301会議室

高齢者体操教室

健康維持・増進や、仲間づくりを促進するための体操教室です。①いそしぎ ②おだわら総合医療福祉会館 ③こゆるぎ

おだわら家族会

介護者同士が介護の悩みや困り事などを一緒に考え、励まし合う会です。①10月20日(金)②11月17日(金) 10:00~12:00

ノーマライゼーション理念普及啓発事業

地域社会で障がい者が安心して暮らせるまちづくりのため、障がいや障がい者に関する市民の理解を促進する事業を実施する団体を募集します。

ボランティア育成講座

- ①傾聴ボランティア講座 「傾聴」を学び、高齢者と交流するボランティアの育成講座です。②病院ボランティア講座 病院内で案内するボランティアについて、車椅子介助方法などを学びます。

市立病院職員

●正規職員 助産師・看護師 対当該資格を持つ人、または平成30年3月に当該資格を取得見込みの人10人程度

鳥賀陽弘道氏講演会

11月5日(日)17:00~19:00 場 UMECO会議室2 内「フェイクニュースの見分け方」 定30人・申込先着順

サイエンスショー

テレビでおなじみの米村でんじろうさんによる、ショースタイルの科学実験です。11月11日(土)14:00~15:30 場 けやき 定500人・多数抽選

人権を考える講演会

北朝鮮による拉致問題と人権の大切さについて、新潟産業大学経済学部准教授の蓮池薫さんの話を聞きます。



セカンドライフ応援セミナー

セカンドライフでも楽しく仕事やボランティアがしたいシニアを対象に、活動内容などを紹介します。10月26日(木)14:00~16:00(受付13:30~) 場 UMECO会議室1~3

Table with 2 columns: 団体名など, 内容. Lists participating organizations and their respective activities.

市内在住または市内での活動を希望する、おおむね60歳以上の人60人・申込先着順



# 相談 ?

## 補装具の巡回更生相談

ID P03568 申込 障がい福祉課 ☎33-1467

身体障がい者の補装具に関する相談を受けます。

- 10月16日、11月13日、12月11日、平成30年1月15日、2月19日、3月12日の月曜日13:00~14:00 場いそしぎ2階
- 装具や車椅子などを使用している人で、再交付や修理を希望する人
- 事前に直接または電話で

## 若者のための地域出張相談

ID P02230 申込 産業政策課 ☎33-1514

就職活動の悩みや不安に、キャリアカウンセラーがアドバイスします。応募書類の添削や面接練習もできます。

- 求人紹介はしません。
- 11月24日(金) 212月22日(金)
- 10:00 11:00 13:00 14:00 15:00 16:00(1人1時間程度)
- 市役所4階産業政策課
- 39歳以下の人各6人・申込先着順
- 10月27日(金)から11月24日(金)から、直接または電話で

## 行政相談週間(10月16日~22日)

ID P23341 地域安全課 ☎33-1775

行政相談委員が、行政機関などの業務に関する苦情や要望などを聞き、その解決に向けて手伝います。

- 毎月第3木曜日13:30~15:30
- 市役所2階市民相談室

### 行政相談委員

- 田中篤男 ☎34-8990
- 田中幸子 ☎37-0892
- 鈴木祥子 ☎37-8848
- 多田昭仁 ☎43-0638

## 小田原保健福祉事務所の相談と検査

申込 小田原保健福祉事務所 ☎32-8000

- 精神保健福祉相談**
  - 10月12日(木)・17日(火)・26日(木)、11月7日(火)・9日(木)13:30~16:30
- 療育歯科相談**
  - 10月17日(火)9:00~15:30
- エイズ相談・検査**
  - 10月18日(水)9:00~11:00
- 認知症相談**
  - 11月10日(金)13:30~16:30
- 小田原合同庁舎4階
- 各前日までに

# イベント

## 10/7(土)~15(日) 小田原もあ展

寄木ギャラリーツユキ ☎22-5995

無尽蔵プロジェクト「ものづくり・デザイン・アート」の工芸品(寄木細工や漆器、鋳物など)と現代アートがコラボレーションした展示会です。

10:00~17:00(15日は16:00まで)

寄木ギャラリーツユキ(早川2-2-15)

関産業政策課

### 清閑亭

申込 清閑亭 ☎22-2834

場 清閑亭(南町1-5-73) 11:00~16:00開館 ※火曜休館

#### ①季節のブローチづくり

正絹古布を使ったブローチを作ります。10月は「ぶどう」です。

10月12日(木) 10:00~12:00

定15人・申込制 費1,300円(材料代込み)

#### ②邸園巡りと花街グルメツアー

近代日本を築いた政財界人の邸園巡りと、小田原の花街・老舗料亭を巡ります。

10月14日(土)10:00~15:30

定40人・申込制 費3,000円(花街昼食付き)

集合 小田原駅 解散 清閑亭

#### ③おだわら鉄道原画展

作家溝満英一の原画展。絵本「はこねやまのとざんでんしゃ」の原画を中心に展示します。

10月14日(土) ~23日(月)

#### ④2つの城をめぐる小田原天下統一攻防ツアー

北条の「小田原城」と、秀吉の「石垣山一夜城」を巡ります。

10月20日(金)10:00~15:30

定30人・申込制 費4,500円(昼食付き)

集合・解散 小田原駅

#### ⑤清閑亭十三夜 吉田長生三曲コンサート

明治時代、小田原に住んだ尺八奏者吉田晴風のひ孫に当たる、吉田長生さんによる尺八と、琴や三味線による月待ちコンサートです。

11月1日(水) 17:00~19:00

定40人・申込制 費4,000円 (茶菓子付き)

吉田長生さん(尺八奏者) 他

## 10/8~3/11の第2日曜日 小田原城址公園ふれあい動物園

事業協会(こども遊園地) ☎22-3417

ポニーやウサギ、ブタなど、かわいい動物と触れ合えます。

10:00~11:30、13:00~15:00 ※雨天時は第4日曜日に延期

小田原城 総合管理 事務所



## 10/9(祝) SATOYAMA&SATOUMI 秋キャンプin小田原

ID P23374 環境政策課 ☎33-1472

地域の財産である森里川海の連なりと、それによりもたらされるさまざまな恵み・生活・文化を知ってもらうためのイベントです。芸能プロダクションと共催で、「おだわらのおたから」をテーマに、里山や里海に触れ、体験します。

10:00~17:00 場 小田原アリーナ 関(株)アップフロントグループ所属アーティストによるエンターテインメントステージ、展示・物販コーナー、コンサート、トークショー、地元団体などによる演奏など



## 10/13(金)・14(土) UMECOプチマーケット

UMECO ☎24-6611

UMECO登録団体による作品の展示販売や、体験講座などを実施します。

10:30~15:00 場 UMECO ※詳しくは、ホームページをご覧ください。 http://umeco.info/

## 10/15(日) 障がい者レクリエーション大会(午後の部)

ID P23200 企画政策課 ☎33-1379

今回、午後の部は障がいの有無にかかわらず、誰でも一緒に体を動かし楽しめるイベントとして開催します。

12:40~14:30 ※申込不要 場 西湘地区体育センター

- パラリンピアンなどトップ選手によるシッティングバレー体験会
- ワークショップ「みんなでカラーテープアートを完成しよう!」
- 講 三ツ山一志さん(造形家)
- ポッチャ、卓球、インディアカなど、約20種類のアトラクション体験

持上履き ※駐車場は、富士見小学校のグラウンドをご利用ください。



# 各種相談

●市民相談(11月) 地域安全課 ☎33-1383 場 市役所2階地域安全課(土・日曜日、祝日を除く)

一般	離婚、相続、近隣トラブルなど日常生活上の軽易な問題に関する相談	月~金曜日	9:00~12:00 13:00~16:00
心配ごと	家庭や地域で困ったこと、悩み事に関する相談	毎週月曜日	13:30~15:30
法律(予約制)	離婚、相続、近隣トラブルなどの法律問題に関する相談(予約は2週間前から)	毎週水曜日	13:30~16:00
司法書士	相続・贈与などの登記手続き、成年後見、遺言書の作成などに関する相談	9日(木)	13:30~15:30
人権擁護	嫌がらせ、名誉き損、プライバシーの侵害などに関する相談	14日(火)	13:30~15:30
行政苦情	国・県・市への要望や苦情	16日(木)	13:30~15:30
税務	相続・贈与・譲渡所得税などの税金に関する相談(6人・当日先着順)	21日(火)	13:30~15:30
宅地建物取引	不動産の売買など取引、賃借などに関する相談	30日(木)	13:30~15:30

場 マロニエ2階集会室203

行政書士	相続・遺言、成年後見、各種許認可申請などの作成・手続きに関する相談	18日(土)	14:00~16:00
------	-----------------------------------	--------	-------------

### ●その他の相談

消費生活相談 消費生活センター ☎33-1777	消費生活に関する苦情や問い合わせなど、お気軽にご相談ください。電話でもお受けします。 月~金曜日(祝日を除く) 9:30~12:00、13:00~16:00 ※平日12:00~13:00、土・日曜日、祝日は県の消費生活相談(☎045-311-0999)をご利用ください。 場 消費生活センター(市役所2階地域安全課内) 小田原市・箱根町・真鶴町・湯河原町に在住・在勤・在学の人
児童相談 子育て政策課 ☎33-1454	子育てについてのさまざまな悩み(18歳未満の児童に関するもの)を児童相談員がお受けします。 月・火・木・金曜日9:00~12:00、13:00~16:30
女性相談 人権・男女共同参画課 ☎33-1737	親しい男性とのトラブルなど、女性が抱える悩みを相談員がお受けします。 月・水・木・金曜日9:30~11:30、13:00~16:30 ※全国共通ナビダイヤルでも対応しています。ここにんわ 内閣府男女共同参画局DV相談ナビ ☎0570-0-55210
青少年相談 青少年相談センター ☎23-1482	ひきこもりや若年無業者(ニート)、不登校、親子や友人との関係などの問題で悩む子ども、若者(30代まで)やその保護者からの相談をお受けします。 月~金曜日(祝日を除く) 9:00~12:00、13:00~17:00 場 青少年相談センター(城山4-2-11)

イベント

10/20(金) シンポジウム 相模湾の環境保全と水産振興

「開放型湾における里海の創生と相模湾漁業の持続について」をテーマに...

10/21(土) 松永記念館 庭園呈茶

数寄茶人・松永茸庵ゆかりの庭園を眺めながら...

10/21(土)・22(日) 学校給食展

学校給食における食育の取り組み紹介や、給食メニュー...



10/21(土)~12/3(日) 特別展「益田鈍翁と横井夜雨」

小田原ゆかりの数寄茶人・益田鈍翁と横井夜雨の事績と交流を...



▲益田鈍翁 ▲横井夜雨

10/21(土)10/22(日)28(土) いこいの森イベント

①サバイバル飯ごう炊さん 9:30~13:00

②小田原材で縁台をつくる! 9:00~13:30

10/22(日) ハロウィンパーティー

仮装やお菓子をハロウィンを楽しみましょう。子どもの参加も大歓迎。

10/27(金)~11/2(木) 母なる川 酒匂川写真展

多くの応募作品の中から、入選した作品を展示します。

10/28(土) 下水道ふれあいまつり

ふだんは見られない下水処理場の見学や、下水道学習...

10/28(土) 雄大な山々に囲まれた酒匂川の歴史を歩こう!!

酒匂川流域を散策しながら、自然環境保全の大切さを考えます。

10/28(土)・29(日) 木工団地フェスティバル

古くから木製品の産地として栄える小田原。昔からある伝統工芸...

10/28(土)・29(日) 生涯学習フェスティバル

生涯学習活動を行っている団体が、日頃の活動内容をけやきで発表します。

10/29(日) 一緒に秋を歌いましょう

「小さい秋見つけた」など、秋にちなんだ歌を皆で歌いましょう。

10/29(日) おだわらハロウィン2017

竹の花商店街で開催していたハロウィンを、今年は小田原駅周辺の商店街に拡大して開催。

10月下旬~11月中旬 ざる菊園(鈴木さん宅)

久野在住の鈴木さんが、丹精込めて育てた1,500株のざる菊でいっぱい庭を開放。

この宝くじの収益金は市町村の明るく住みよいまちづくりに使われます。

11/3(祝) 早川一夜城きらめきガーデン秋まつり

石垣山一夜城歴史公園前駐車場を中心に、秋まつりを開催。

11/3(祝)・11/8(水)~11(土) 中学校生徒音楽会・美術展

●音楽会 11月3日(祝)10:00~15:30

11/3(祝)~11/15(水) 小田原城菊花展

小田原城のミニチュアを小菊で飾った総合花壇や、厚物・盆栽・スプレー菊...

フラワーガーデン

●現代押花アート展 色を長持ちさせる特別な技法を用いた、押し花の展示です。

●秋のローズフェスタ 秋バラの開花に伴い、バラのシュシュ・ローズモイストポプリ...

●ハッピーハロウィンウィーク 松田山ハーブガーデン、おだわら諏訪の原公園と合同で...

●プチ軽トラ市 小田原・足柄地区の生産物・加工品を生産者が対面販売。





# イベント

**11/5(日)**  
**おだわらの猫を考える**  
 ID P23242 環境保護課 ☎33-1481

野良猫の現状や、猫の適正飼育などについて考えるイベントです。猫のフォトコンテストも実施。猫についての質問も募集します。(行政提案型協働事業)  
 時 13:00~16:30  
 場 マロニエ3階集会室301  
 ※猫の写真および質問は、10月23日(月)までに、郵送で。  
 E oda\_nekoeve@yahoo.co.jp (おだわらねこ)

**11/11(土)・12(日)**  
**わんぱく工作室**  
 わんぱくらんど管理事務所 ☎24-3189

木の実や枝、木材を使って自由に工作をしましょう。 ※雨天中止  
 時 10:00~12:00、13:00~15:00  
 場 エントランス広場

**11/11(土)**  
**HoloHolo朝市**  
 実行委員会・岩田 ☎36-0201

障がい者や一般の人から寄せられた手作り品を、朝市で展示即売します。  
 時 10:00~15:00 ※雨天12日(日)に延期  
 場 上府中公園  
 ●出店者募集  
 申 10月27日(金)までに、電話で  
 関 障がい福祉課

**12/3(日)**  
**小田原サイクルフェスティバル2017**  
 事業課 ☎23-1101

バンクウォークや間近での模擬レース観戦など、競輪の迫力や自転車の魅力を再発見!体験型イベントも盛りだくさんです。家族で楽しみましょう。

※雨天決行  
 時 10:00~14:30 場 小田原競輪場  
 関 最新自転車の展示・バンク試走、バックヤードツアー、自転車無料点検、グルメワゴン 他

●フリーマーケット出店者募集  
 関 家庭内の不用品(食品・生物不可)の販売(区画2m×3m)を希望する70組程度・多数抽選 ※出店無料  
 申 11月10日(金)(消印有効)までに、往復はがきに代表者の住所・氏名・電話番号・出店品目・参加人数を書いて郵送で  
 ※結果は、11月下旬までに通知  
 〒250-0045 城山4-10-1 小田原競輪場「フリーマーケット申込」係

●自転車乗り方教室参加者募集  
 関 未就学児25人・多数抽選  
 申 11月27日(月)までに、ホームページで  
 関 http://www.odawarakeirin.com/



# こども

**図書館こども映画会**  
 ID P00981 市立図書館 ☎24-1055  
 かもめ図書館 ☎49-7800

- 市立図書館
  - 時 10月21日(土)14:00~(開場13:40)
  - 関 「和尚と小僧のかみがない」他(22分)
- かもめ図書館
  - 時 10月14日(土)14:00~(開場13:40)
  - 関 「きき耳ずきん」他(23分)
  - 時 10月28日(土)14:00~(開場13:40)
  - 関 「たのきゅう」他(23分)

**図書館こどもクラブ**  
 ID P18965 申込 かもめ図書館 ☎49-7800

かもめ図書館で、カウンターの仕事や読み聞かせを体験し、図書館のことを知りましょう。

- 時 11月19日(日)、12月17日(日)、平成30年1月20日(土)、2月17日(土) 10:00~12:00(全4回)
- 関 全日程参加できる市内在住の小学1~3年生10人・申込先着順
- 申 10月15日(日)9:00から、かもめ図書館に直接または電話で

**ぴよぴよくらぶ**  
 ぴよぴよくらぶ・椎野 ☎090-6303-0861

- 時 ①10月5日(木)②11月2日(木) 10:00~11:30(受付9:45)
- 場 マロニエ
- 関 ①秋の収穫祭、みんなで何がとれるかな  
 ②可愛いぴよちゃんの音楽祭
- 関 入園前の子どもとその家族
- 費 各日子ども1人100円(材料費)
- 関 子育て政策課

**よみきかせミニおたのしみ会**  
 ID P18984 かもめ図書館 ☎49-7800

時 11月3日(祝)15:00~15:45  
 場 かもめ図書館1階こどもクラブ室  
 関 パネルシアター、大型絵本など

**育てよう!読書の木**  
 ID P21347 かもめ図書館 ☎49-7800

読んで気に入った本のタイトルを、葉っぱのカードに書き、木に貼りつけて、皆で「読書の木」を育てましょう。カード5枚でしおりをプレゼント。  
 関 小学生以下  
 申 11月23日(祝)までに、かもめ図書館に直接  
**「読書の木」展示**  
 期 10月1日(日)~11月30日(木)  
 場 かもめ図書館児童コーナー  
 関 小田原市事業協会

**おだたんひろば**  
 ID P01981 子育て政策課 ☎33-1874  
 小田原短期大学 ☎22-1303

親子で遊んだり、おしゃべりしましょう。  
 時 10月18日(水)10:00~11:30  
 場 小田原短期大学体育館  
 関 入園前の子どもとその家族  
 関 体育館で使用する上履き

**子ども映画会と金次郎のおはなし**  
 ID P07859 尊徳記念館 ☎36-2381

時 10月22日(日)14:00~14:45  
 場 尊徳記念館1階視聴覚室  
 関 ●映画「ねずみのすもう」  
 「うぐいすの里」  
 ●金次郎のおはなし  
 関 60人・当日先着順

## 子育て支援センター関連イベント

ID P02036 子育て政策課 ☎33-1874

子育て支援センター マロニエ ☎48-8698 おだぴよ ☎34-6181  
 いずみ ☎37-9077 こゆるぎ ☎43-0251

- 育児相談  
 身長・体重を測定し、保健師が相談を受けます。  
 時 ①10月11日(水)10:00~11:00  
 ②10月20日(金)10:00~11:00  
 場 ①マロニエ②おだぴよ  
 持 母子健康手帳
- 赤ちゃんデー  
 6か月までの乳児限定ひろばです。  
 時 ①10月12日(木)10:00~11:45  
 ②10月20日(金)13:00~15:00  
 ③10月26日(木)10:00~12:00  
 場 ①おだぴよ②いずみ③マロニエ
- 赤ちゃんデー(すくすくデー)  
 0歳児とママの会です。  
 時 10月13日(金)10:00~11:00  
 場 こゆるぎ 関 15組  
 申 こゆるぎに電話で
- 妊婦さんの集いの場  
 出産や子育てについて気軽にお話しします。助産師が参加します。  
 時 10月20日(金)14:30~16:00  
 場 いずみ

- ヨチヨチデー  
 7~11か月の乳児限定ひろばです。  
 時 ①10月10日(火)10:00~12:00  
 ②10月25日(水)10:00~11:00  
 ③10月27日(金)13:30~15:30  
 場 ①マロニエ②いずみ③おだぴよ
- こゆるぎホッとたいむ  
 子どもと心の発達について話し合う、ママのおしゃべり会。国際医療福祉大学の講師も参加します。  
 時 10月27日(金)14:00~15:30  
 場 こゆるぎ 関 2歳児以上親子10組  
 申 こゆるぎに電話で
- 親子の絆づくりプログラム  
**赤ちゃんがきた!(愛称BP)**  
 時 11月8日~29日の毎週水曜日 13:30~15:30(全4回) 場 おだぴよ  
 関 生後2~5か月(6月8日~9月8日生まれ)の赤ちゃんと一緒に子育てするお母さん20組・申込先着順  
 申 おだぴよに電話で  
 ※申し込みが必要なもの以外は、直接会場にお越しください。

# スポーツ

**トレーニングルーム利用者講習会<11月分>**  
 申込 ①小田原アリーナ ☎38-1144  
 ②スポーツ会館 ☎23-2465

- ①小田原アリーナ
  - 時 毎週火曜日19:00~20:00  
 毎週木曜日14:00~15:00  
 毎週金曜日11:00~12:00  
 毎週日曜日11:00~12:00  
 ※11月28日(火)を除く。
  - 関 高校生以上各日15人・申込先着順
  - 申 10月15日(日)9:00から
  - 関 http://odawaraarena.main.jp/
- ②スポーツ会館
  - 時 11月2日(木)・11日(土)14:00~15:00  
 11月22日(水)18:30~19:30
  - 関 高校生以上各日8人・申込先着順

**小田原アリーナの主な行事予定<10月15日~11月14日>**  
 小田原アリーナ ☎38-1144

日程	内容	使用アリーナ	
		メイン	サブ
10月15日(日)	ふれあい子どもフェスティバル	○	
18日(水)	フードサービスショー	○	
21日(土)	秋季クラブリーグ戦(バドミントン)	○	
22日(日)	小田原市インディアカ総合大会	○	
	小田原地区剣道審査会		○
28日(土)	Fリーグ	○	○
11月 3日(祝)~5日(日)	こゆるぎ杯袖ヶ浦杯争奪全国中学校剣道大会	○	○
11日(土)	スポーツフェスティバル	○	
12日(日)	神奈川県高等学校バレーボール男女選手権大会	○	○

※10月23日(月)は休館日

**小田原球場の主な行事予定<10月15日~11月14日>**  
 小田原球場 ☎42-5511

10月21日(土)・22日(日) 28日(土)・29日(日)	TRIBANK Sagami 少年野球大会
11月 3日(祝)	リスト杯争奪 神奈川県支部大会
4日(土) 11日(土)	小田原地方官公庁 親睦野球大会
19日(日)	一般開放

**一般開放日の受付**  
 申 10月3日(火)~11日(水)に、電話で  
 ※多数抽選。大会開催時は、一般利用ができないこともあります。  
 関 http://odawara-jigyo-kyokai.jp/kouen/

**大人も子どももプレイパークであそぼう!**  
 ID P15474  
 子育て政策課 ☎33-1874  
 .....  
 子どもが思い切り遊べるように、禁止事項を少なくした新しい遊びの場です。  
 時 10月14日(土)10:00~15:00  
 ※参加自由・小雨決行  
 場 酒匂浜公園  
 関 pp@seisho戸田(☎31-1787)

## スポーツ

**みんなで市民体操「おだわら百彩」**  
 ID P22379 申込健康づくり課 ☎47-0820

めだかやみかん、お猿のかごやなど、小田原をイメージできる動きと“なんば”の動きを取り入れた市民体操「おだわら百彩」のレッスンです。  
 10月24日(火)14:00~15:30  
 場いそしぎ  
 定20人・申込先着順  
 備室内履き、飲み物、タオル  
 ※体操ができる服装でお越しください。

**スポーツ会館施設の無料開放**  
 スポーツ会館 ☎23-2465

体育の日に、体育室(バドミントン2面、卓球5台)とトレーニング室を無料開放します。  
 10月9日(祝)9:00~16:00  
 備室内履きやラケットなど(トレーニング室は利用者証)  
 本http://odawara-jigyo-kyokai.jp/sports/

**フィットネスウォーキング教室**  
 体育協会 ☎38-3310

11月2日~16日の毎週木曜日  
 10:00~11:30(全3回)  
 場小田原アリーナ  
 対県西地域在住・在勤・在学の20歳以上の人30人・申込先着順  
 費1,500円(保険料含む)  
 講笹川さゆりさん(フィットネスインストラクター)  
 申10月2日(月)~20日(金)にホームページで  
 本http://www.odawara-taikyo.or.jp

**市民フットサルまつり**  
 体育協会 ☎38-3310

身近なプロスポーツであるフットサルを体感できます。小田原アリーナをチームカラーの緑色で埋め尽くし、湘南ベルマーレを応援しましょう!  
 10月28日(土)9:00~18:30  
 場小田原アリーナ  
 内 9:00~フットサルPK大会  
 11:30~世代間交流フットサルゲーム  
 15:00~湘南ベルマーレVSアグレミーナ浜松(※)  
 17:30~ベルマーレ選手交流会  
 費(※)のみ2,000円(当日)。中学生以下は、競技ユニフォーム着用で観戦無料

**献血**

- ダイナシティイースト  
 10月8日(日)・9日(祝)・28日(土)
- ダイナシティウエスト  
 10月15日(日)
- 曾我病院(北館1階 機能訓練室)  
 10月25日(水)
- フレスポ小田原シティモール  
 10月29日(日)  
 時10:00~12:00、13:30~16:00

## 健康

健康カレンダーと併せてご覧ください。  
 ID P22330  
 保健センター(健康づくり課) ☎47-0820

### 11月の健康診査などの予定

詳しくは健康カレンダーをご覧ください。  
 ●赤ちゃんのための健診・相談など

事業名	対象・実施日など
4か月児健診	平成29年7月生 10・15日
8~9か月児健診	取扱医療機関にて
1歳6か月児健診	平成28年4月生 7・17・21日
2歳児歯科健診	平成27年10月生 9・20日
3歳児健診	平成26年4月生 1・14・24日
いきいき親子育児相談	6日
親子心理相談	就学前の親子(電話申込制)

### はつらつ健康相談(予約不要)

血圧測定、血管年齢測定、身長・体重測定、健康・栄養相談などを行います。

●午前の日(9:30~11:30)

10月12日(木)	前羽福祉館
25日(水)	上府中分館

### すこやか健康相談(電話申込制)

生活習慣病、その他の健康に関する相談に保健師・栄養士が答えます。  
 10月20日(金)9:30~11:30

### がん集団検診(電話申込制)

●胃がん集団検診

10月25日(水)	小田原アリーナ1階入口前
27日(金)	国府津学習館
30日(月)	市役所1階
11月13日(月)	保健センター
14日(火)	下中老人憩の家

●乳がん(マンモグラフィ併用検診)子宮頸がん集団検診

10月17日(火)	小田原アリーナ
31日(火)	保健センター
11月13日(月)	保健センター
15日(水)	小田原アリーナ

### 10月は乳がん月間です

乳がんは、30歳から64歳の女性の死亡原因第1位で、若年層が乳がんにかかる率も上昇しています。また、食生活習慣と関連があるといわれています。しこりは、定期的な自己触診で発見できます。異常があると感じたら、すぐに病院(外科)を受診してください。40歳以上の女性は、市の乳がん検診の対象です。毎年受けましょう。

### 高齢者インフルエンザ予防接種

期10月1日(日)~平成30年2月28日(水)  
 場市内取扱医療機関 他  
 ※予約の有無は医療機関に確認  
 対本市に住民登録がある人で、接種日に①65歳以上の人②60歳以上65歳未満で心臓やじん臓、呼吸器などに重い障がいがある人(身体障害者手帳1級程度)  
 費1,700円  
 接種回数 1回  
 備健康保険証など住所・年齢が分かるもの(②の人は身体障害者手帳)  
 ※市民税非課税世帯および生活保護世帯の人は、接種費用が免除になります。接種2週間前までに健康づくり課に申請してください。申請せずに接種費用を支払われた場合、返金できません。

### 共同募金運動(12月31日まで)

共同募金会小田原市支会 ☎35-4000  
 「赤い羽根共同募金」「年末たすけあい募金」は、県内の社会福祉施設や子ども、高齢者、障がい者のための地域福祉活動に役立てられます。ご協力をお願いします。  
 関福祉政策課

### 「すこやか健康コーナーおだわら」10月健康相談会

市役所2階の「すこやか健康コーナーおだわら」では、血圧、血管年齢、脳年齢、骨健康度を自由に測定できます(祝日を除く月~金曜日9:00~17:00)。月に2回、保健師や栄養士が、測定結果などについて健康相談を実施します。  
 10月12日(木) 9:00~12:00  
 10月25日(水)13:00~17:00

### ママパパ学級

- ①妊娠中の過ごし方  
 10月26日(木)13:20~15:30  
 内こころとからだの変化、栄養の話、分べんの流れ
  - ②赤ちゃんとの生活 その1  
 11月16日(木)13:20~15:30  
 内小児科医の話、新生児・授乳について、先輩家族の話
- ①②共通  
 場保健センター  
 対妊娠20週以降の妊婦とパートナー(妊婦のみも可)  
 持母子保健手帳、筆記用具  
 申各前日までに、電話で

### 糖尿病週間行事とふれあいけんこうフェスティバル

- ID P18023 健康づくり課 ☎47-0820
- 糖尿病週間行事①とふれあいけんこうフェスティバル  
 10月15日(日) 10:00~15:00  
 場ダイナシティウエストモール(西武小田原店)  
 内・健康相談(糖尿病を中心とした医療相談、歯科相談、薬の相談、栄養相談など)  
 ・健康チェック(骨密度、血管年齢測定など)  
 ・ステージ(小田原医師会合唱団など)  
 ・キャンペーン(薬物乱用防止など)

- 糖尿病週間行事②「糖尿病、あなたの知識大丈夫?」  
 11月19日(日)  
 ①10:00~12:00(受付9:45~)  
 ②13:00~15:00(受付12:30~)  
 場マロニエ  
 内①調理実習とバイキング形式の試食「バイキングでカロリーチェック!」  
 ②教育講演「糖尿病にいいことは健康にも美容にもいい!!~これだけは知っておくと差がつくお話~」  
 定①35人②100人・申込先着順  
 講土井路子さん(横須賀共済病院)  
 申11月17日(金)までに、電話で

## 休日・夜間急患診療カレンダー

場保健センター 持健康保険証

●休日診療(日中)  
 受付 8:30~11:30(歯科9:00~) 13:00~15:30

	内科(※)	小児科(※)	耳鼻咽喉科	眼科	歯科
10月 8日(日)	○	○	○	-	○
9日(祝)	○	○	○	○	○
15日(日)	○	○	○	○	○
22日(日)	○	○	○	-	○
29日(日)	○	○	○	○	○
11月 3日(祝)	○	○	○	○	○
5日(日)	○	○	○	○	○
12日(日)	○	○	○	-	○

- 準夜間診療 ※内科・小児科のみ  
 受付 平日19:00~22:00  
 土・日曜日、祝日 18:00~22:00
- 連絡先  
 休日・夜間急患診療所 ☎47-0823  
 休日急患歯科診療所 ☎47-0825  
 休日・夜間急患薬局 ☎47-0826
- 休日・夜間の急患への病院案内  
 消防署 ☎49-0119
- 毎日、夜間の急患診療  
 毎夜間・当直医の診療科と小児科の診療  
 市立病院 ☎34-3175



市場が認めた地場野菜

市場と農家さんが自信を持ってオススメする野菜や果物。これが、「小田原いちばやさい」だ! 農政課 ☎48-1551

私たちが作っています!

できのよいなすを出荷するために

なすは寒さに弱いため、ビニールハウスで苗を育て、霜が降りる心配のない4月に、畑に植え替えます。実った後も、風で葉が実を傷つけたり、雨で肥料を与えられず形が崩れたりするなど、自然の影響を受けるため、自分の目と手でしっかりと管理しています。こうして丁寧に育てたなすは、11月の第1週頃まで市場に出荷できます。



水之尾で農業(主になすとねぎ)を営む大木康介さん

小田原の野菜を知ってほしい

小田原に「野菜」のイメージはないかもしれません。私たち生産者は、よい野菜を作るため日々努力しています。市場や売り場の人と協力して、市民や観光客の皆さんに小田原の野菜を広めていきたいです。

秋にオススメの小田原いちばやさい「なす」に関するよくある質問

Q. 夏と秋ではどちらがおいしいの?

A. 暑さは養分を蓄える妨げとなるため、秋のほうが栄養が身に回っておいしくなります。体を冷やす作用があるため、寒くなるこれからは、しょうがやねぎなどの体を温める食材と一緒に、加熱して食べましょう。

Q. あく抜きは必要?

A. 「渋みやえぐみを取りたい」「色をきれいに見せたい」なら、あく抜きは必要。あく抜きは、切ってすぐに5~10分水にさらします。揚げ物や炒め物にするなら、しなくても大丈夫です。

Q. 蒸しなすの作り方を教えてください。

A. ①食べやすい大きさに切り、水にくぐらせます。②皿に並べ、ふんわりラップをかけ、電子レンジ(500W)で加熱します。目安は1本で3分、3本で5分程度です。削り節としょうゆ、めんつゆとごま油など、お好みの味つけでどうぞ!



その他の秋にオススメいちばやさい「かぶ」「いんげん」

運動するならウォーキング



健康的に長生きするため、見て、すぐ実践できる食事や運動をご紹介します!

健康づくり課 ☎47-0820

健康を手に入れる 食×動

まず、一步を踏み出そう

ウォーキングは、いつでも、どこでも、一人でもできる身近な運動です。まずは、日常生活で歩く機会を増やしてみませんか。1日1,000歩(約10分)多く歩くことから始め、最終的には1日10,000歩を目指しましょう。

歩き方のポイント



楽しく、安全に 一緒に歩く人、歩きながら見る景色、まち歩きなど、自分なりの楽しみを見つけると、長く続けられます。また、体調が悪いときや体に痛みがあるときは、無理をしないことも大切。熱中症対策をするなど、自分のペースで歩きましょう。

城下町おだわらツデーマーチ 事前申し込みは11月2日(木)まで

問 申し込みに関して エントリー事務局 ☎0120-711-951 大会に関して 実行委員会事務局(スポーツ課内) ☎38-1198 秋の西さがみを歩くウォーキング大会。同時企画のイベントもあります。

11月18日(土)	11月19日(日)
「小田原コース」30・20・10・6km	「小田原コース」30・20・10・6km
「箱根コース」20km	「真鶴・湯河原コース」20km

費用 一般1,500円(当日2,000円)、小・中学生100円(事前・当日とも) ※未就学児無料(保険適用のため、申込用紙への記入は必要) 申込 直接、電話、ファクス、郵送、インターネットまたは郵便払い込みで

連載 あふれる魅力

HaRuNe小田原

情報

東通り商店街の「㊦㊧いもの祭り」、おしゃれ横丁の「㊨㊩れ市」、そして「ハ㊪㊫小田原」が力を合わせ、「うましゃるネ祭」を開催します。前回好評だった「かます棒」の提供やステージイベントなど、盛りだくさんの企画を用意しています。ぜひ、お越しください。

主催・問 うましゃるネ祭実行委員会 ☎23-4709(小田原駅前東通り商店街内) 期間 10月15日(日)12:00~17:00



10月のハルネ情報

今年も夢の共演

第2回 うましゃるネ祭



うましゃるネ祭 実行委員 二見洋一さん

「うましゃるネ祭」は、2回目を迎えます。まだ始まったばかりのイベントですが、前回以上に喜んでもらえるよう、準備を進めています。メイン企画の「お振る舞い」は、前回よりも増量してお届けしますので、お楽しみに。また、サブ企画として、ワンコインでお得なサービスをお求めいただける「500円バザール」を実施します。ジャンルを問わず多くのお店が参加しますので、この機会にお気に入りのお店を見つけてみてください。

<ハルネギャラリー情報>

「小田原セレクション2017」 ~外国からのお客様に薦めたい小田原の極上品~ 期間 10月31日(火)まで

イベント情報

●小田原城ミュージックストリート 主催・問 小田原城ミュージックストリート 実行委員会 ☎33-1709(文化政策課内)

日時 10月8日(日)13:00~16:00

●からくりパズルマーケット 主催・問 小田原・箱根「からくりパズル」を 広める会 ☎32-3631

日時 10月14日(土)11:00~18:00

●第23回 小田原風の盆 問 街かど案内所 ☎23-1150

日時 10月14日(土)17:30~19:40

●おだわらハロウィン2017 (仮装コンテスト&表彰式) 主催・問 小田原市商店街連合会 ☎22-5961 日時 10月29日(日)15:30~17:00

●小田原の地魚「夕市」 問 小田原市産地協議会 ☎22-9227(水産海浜課内)

日時 10月30日(月)・31日(火) 11月27日(月)・28日(火) 10:00から(売り切れ次第終了)